

令和6年度
第2回上小地区小中学校教科用図書採択研究協議会

日 時 令和6年7月23日(火)
午後2時から
場 所 上田市役所南庁舎5階
S503会議室

出席者 山口会長(東御市教育長)、杳掛副会長(青木村教育長)、安達委員(上田市教育長職務代理者)、龍野委員(長和町教育長職務代理者)、酒井委員(上田市教育長)、藤田委員(長和町教育長)、小林委員(東御市教育長職務代理者)、片田委員(青木村教育長職務代理者)、臼井委員(長和町立和田小学校長)、小山委員(上田市立丸子中学校長)、小山委員(上小PTA連合会会長)

教科責任者(調査研究委員長)

国語・書写 高橋(東御市立北御牧中学校)、社会 塩田(上田市立丸子北中学校)、数学 高寺(上田市立第二中学校)、理科 木内(東御市立北御牧中学校)、音楽 今井(上田市立第五中学校)、美術 千原(上田市立豊殿小学校)、技術家庭 小林(上田市立丸子中学校)、保健体育 木下(上田市立第四中学校)、英語 富山(上田市立第六中学校)、道徳 柳澤(上田市立第一中学校)

事務局(上田市教育委員会学校教育課) 長田、川俣、岩下

○会長 それでは、国語について調査研究委員長、自席で座ったままで結構ですので、調査研究結果のご報告をお願いいたします。

○国語教科責任者 それでは、よろしくをお願いいたします。国語と書写、2種の報告をいたします。

まず、国語の教科書です。調査研究委員会は、光村図書の「国語」が総合的に最適と選定しました。教材は、段階的に配置され、系統性にもよく配慮されていました。

読むことの教材は、私たちが価値ある定番と捉えるものと、新たに書き下ろされたものがあり、説明的文章では多様な情報に触れたり、論理的思考のモデルにしたりできる教材、文学的文章では、多様な解釈を交わせる教材があること、読み比べできる教材、資料、デジタル教材等も充実していると評価しました。

話すこと・聞くことの教材では、多様なテーマ、言語活動が、書くことの教材は多様なテーマ、文

種が、ICTの利活用と絡めながら日常と結びつけ、生徒たちの知的好奇心を喚起するように位置づいていました。

言葉・語彙、言葉への興味関心について、例えば豊富に用意された「言の葉ポケット」は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で学習内容に応じて 話型・文型を、「読むこと」では言葉を切り口にした設問となっていて、生徒が関わり合う活動も含めて有効な活用ができると考えられました。

委員会で特に評価したのは、生徒の主体的な取組に関わる配慮や工夫のよさです。教科書内の各教材における課題解決への学習の手引き、これを今回「学びへの扉」として構成が一新されていました。「読むこと」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の国語の3領域で共通の構成で学習の流れがさらに分かりやすく示されていました。

汎用的な学習のポイントとなるその教材で身につける資質能力は、「学びのカギ」で図解されますが、この「学びのカギ」で示されたポイントは、「学びへの扉」で黄色く示され焦点化され、学びに促されます。主要となる教材では、「学びへの扉」と「学びのカギ」を左右のページで分割してあり、視覚的にも分かりやすい構成となっていました。このことは、学習指導において学習過程と課題解決、資質能力を相互に関連することを促し、主体的な取組、自らの学習の調整や、何ができるようになったかを言語化する自己評価等に大いにつながるものと受け止めました。

また、新設された一回り小さい形になりますが、ブックインブック形式の「語彙ブック」は、各学年の発達段階や教材内容に応じて言葉を描写、言動、思考の3つに系統的に整理していますので、本編の教材と行き来して扱うことや、他領域と関連づけて扱うことも可能な新しい教材と高く評価しました。

情報の扱い方学習に関わる「思考のレッスン」、「情報整理のレッスン」も、具体例や図解で分かりやすいものに工夫されていました。

光村図書の「国語」は、現在本地区で採用されているものですが、その他の観点についても今回の改訂において採択基準における配慮や工夫が一段と高まっていると委員会で高く評価し、本書を選定しました。

続きまして、書写について報告します。調査委員会は、光村図書の「中学書写」が総合的に最適と選定しました。書写の学習と日常生活との関連性について、手紙、原稿用紙等の書式や学校生活や日常生活に生かせるようによく工夫された作例により、書写学習で習得した知識、技能を他の生活場面に役立てる方法をイメージできるよう、よく配慮されていました。

学習の取組については、「考えよう」で気づいた原理原則を、「確かめよう」で確認しながら毛筆し、「生かそう」で硬筆や日常生活に生かす手がかりに促す3つのステップで示されています。生徒が見通しを持ちやすく、さらに主体的な取組につながるものが大いに期待できると考えました。

また、主要教材で学習のポイントが、「学びのカギ」として学習の筆遣いから文字の使い分けに至るまで簡潔に明示されていること、行書を書くときに意識したい点画の変化、省略、連続、筆順の変化

を「行書スイッチ」として特徴の意識化を図ったことは、学習者が何をどう学ぶのかが分かりやすく主体的な取組につながる工夫と委員会では考えました。

学習の関連性では、書写学習の基礎基本や小学校の学習内容をまとめた「中学書写スタートブック」、毛筆と硬筆との関連別冊の硬筆練習帳「書写ブック」により、小中、毛筆、硬筆が密接になるように図られていました。

古典や短歌、俳句を書写する教材の設定と関連して、主体的に学習し、基礎基本について活用や日常の文字に生かせるよう、よく配慮されていたと考えます。

生徒の発達段階に即した教材文字、読みにくさや混乱が生じないように配慮したレイアウト、筆脈や穂先の二次元コードも含めた解説など、適切によく工夫がなされていたと考えています。

このように光村図書「中学書写」は、今回の改訂において採択基準における配慮や工夫が一段と高まっていると委員会で高く評価し、本書を選定しました。

以上です。

○会長 ありがとうございます。

それでは、ただいま報告いただきました国語につきましてご協議をいただき、選定をしてまいりたいと思います。

何か質問、ご意見ございますか。

○委員 ただいま光村図書の選定の報告ということですがけれども、確かに光村さん、大変よくまとめられていたと考えられます。書写についてなのですがけれども、SDGsやタブレットについての言及もありまして、大変見やすい内容となっております。ただ、見た観点から、ボリュームが少々多めかなという気がしましたので、そこはまた先生方、上手にまとめていただいて、子供たちの負担、また先生方の負担からの詰め込みになってしまわないようなご配慮をいただけたら、よりよくなるのかなというふうに感じました。ですので、選定結果に対する意見ではなくて、保護者側からそういった配慮をしてもらえると、より有効活用していただけるかなというふうに感じましたので、よろしくお願いたします。

以上です。

○会長 ありがとうございます。

○国語教科責任者 ご指摘を生かしていきたいと思います。

○会長 ありがとうございます。

ほかございますか。

○委員 ありがとうございます。とても分かりやすかったかなと思います。

2つお願いしたいのですが、1点目、国語の教科書のほうです。国語の教科書の調査表の丸印、二重丸を比べていってみると、東書と光村さんがやはり多いかなという感じがします。その違いを見ていくと、光村さんが二重丸で、東書さんが丸になっているところと見ていくと、2の(1)の分量、

それから難易の程度、それから（４）の文字の大きさ、行間ということで、光村さんの大きな特徴、後ろにも書かれているように、いわゆる学年の系統性や、それから学年内の系統性、とても大事にしているし、それが巻末で振り返ってみながらということが、それがうんと特徴的なものですから、それがこの（１）のところに述べられていていいなと思いましたが、その字体の工夫の部分、ユニバーサル文字だとか、その観点だと思うのですが、それが３枚目の教科書を選定した理由のほうには一切触れられていないのですが、その辺はどのようにお考えかということで、１点質問をお願いします。

○会長 委員長、お願いします。

○国語教科責任者 委員会としましては、この字体についてでありますけれども、丸自体は優れていると、二重丸は特に優れているという基準でございましたので、どの教科書も配慮がなされているなというふうに考えていく中で、光村についてはやはり見やすさとか、そういうことを考えましたので、選定理由のところには載せていないわけでありますけれども、この調査表の１と２に準じてというふうにさせていただきました。

○会長 ほかはよろしいですか。

〔発言する者なし〕

○会長 では、特にないようですので、選定に入ります。

国語について、光村図書出版株式会社の教科書を選定することとしてよろしいでしょうか。賛成の場合は挙手をお願いいたします。

〔挙手多数〕

○会長 ありがとうございます。

それでは、賛成多数と認められますので、国語については光村図書出版の教科書を選定することといたします。ありがとうございます。

それでは、社会について調査研究委員長、自席で座っていただいて結構ですので、調査研究結果の報告をお願いします。

○社会教科責任者 それでは、よろしくをお願いいたします。

中学校社会科の教科用図書採択研究における調査研究委員会の選定結果について説明をさせていただきます。まず、選定の業者ですけれども、選定の結果のところなのですけれども、これまでは地理的分野、歴史的分野、公民的分野とも東京書籍で採用ということになってございましたけれども、今回の選定では地理的分野を東京書籍から帝国書院に変更、歴史的分野、公民館分野はこれまでと同じ東京書籍、それから地図帳につきましてもこれまでと同じ帝国書院というようなことで提案をさせていただきたいと思っております。地理的分野の教科書のみが、従来の東京書籍から帝国書院への変更ということでございます。

選定の方法ですけれども、発言力のある委員の意見だけが通ってしまうというようなことがないよ

うにというふうに考えまして、各人が教科書を持ち帰り、全ての業者それぞれを見ながら、それぞれが採点するというような方法で行いました。委員長が各委員個々の意見を集約して、二重丸の特に優れているという数の多かったものに優先順位をつけて、7月2日に話し合いを行いました。

歴史的分野と公民的分野と地図帳につきましては、従来どおりの東京書籍が多く、7月2日の会合でも異論はなしということがございます。地理的分野につきましては、従来の東京書籍と今回の選定となりました帝国書院が同数となり、話し合いにより選定することとなりました。

地理的分野の帝国書院が優れている点として、幾つか挙げさせていただきます。全体的に資料やグラフに新鮮味があって、社会の動きに即した内容になっているというふうに感じることです。地理は、どの会社でも持続可能な社会、SDGsと地理的事象との関わりについて前面に押し出されていますけれども、こんな資料を読み取らせたいといった授業を構想しながら教科書を開いたとき、帝国書院が扱う資料が、より生徒たちや授業者の感覚に近いという意見があり、これについてはほかの委員も同意いたしました。

また、どの教科書につきましても写真がたくさん掲載されており、眺めているだけで楽しくなるような工夫がなされておりましたけれども、帝国書院の写真は最も感覚的に優れているということになりました。具体的に申し上げますと、例えば世界の様々な地域という単元の標高の高い土地に暮らす人々というページを比べてみますと、どの会社も衣食住の写真として衣服、食べ物、それから家屋の写真が別個に載せられているのですが、帝国書院のものがそれらの様子が1枚の写真の中に収まるような工夫がされておりました。例えば住居の写真で住居の近くで日干しレンガを作っている写真が同じ1枚として載っているとか、民族衣装のところ、アルパカの毛で作られた民族衣装をまとった子供たちがアルパカを連れているという様子とか、こういう動物から作られた毛なのだなみたいなのが1枚の写真から分かる。そういったことで写真を眺めながら、その地域の暮らしの全体が想像しやすいように工夫されているというふうに感じました。これらについても帝国書院を推薦する委員から具体的な選定理由が説明されて、ほかの委員も同意したところでございます。

さらに地図帳は従来から帝国書院なのですけれども、レイアウトや関連するグラフや図表が分かりやすく配列されているという点で、今回においても全員一致で帝国書院ということで決まったわけですが、地図帳と地理的分野の教科書という相性という点から見ても、資料やグラフの考えの関連ですとか、色使いの統一性などを踏まえれば、帝国書院を選定する理由の裏づけの一つになるのかなというふうなことで帝国書院ということで選ばせていただきました。

そうしますと、教科書の中で地理だけが帝国書院で、あとの2つが東京書籍ということで、同じ業者でそろっていたほうが分かりやすいのではないかなというような意見も委員から出されたのでありますけれども、それにつきましては確かに授業展開とか、レイアウトとかということを考えますと、教科書がそろっているほうが構想がしやすくなるということはあるわけですが、今回の教科書選定の仕組みがそれぞれ統一した業者というような感じにはなっていないことですか、あとは業者に

よっては歴史だけとか、歴史と公民だけというような業者もございますので、3つの業者がそろっていなければいけないという前提はあまりしないほうがいいのではないかというふうに考えて、それぞれ別個に選ぶこととしました。

それぞれでいいものを選んだ結果なのですけれども、地理に関しては教科書と地図帳が帝国書院、そして歴史的分野と公民的分野ですけれども、こちらは東京書籍となりました。偶然なのですけれども、歴史的分野と公民的分野は学習に連続性がある、続けて学習する部分が多いですので、そろってよかったなというふうに思っているところでございます。

このようなことで、冒頭で申し上げましたけれども、地理的分野を帝国書院、それから歴史的分野、公民的分野は東京書籍、地図帳は帝国書院ということで提案をさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

○会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまご報告いただきました社会につきましてご協議をいただき、選定をしてみたいと思います。

何かご質問、ご意見ございますか。

○委員 ありがとうございます。地理についてです。

今回帝国書院さんを選んだ理由として、後ろの3枚目のところから読ませていただくと、大きくは今日的な課題が取り上げられていること、それからいわゆる単元を通したテーマを持ちやすくするために導入を工夫して、その後工夫がなされているということ、それから学習活動が主体的、対話的になっていることという辺りのところが大きな選定基準になっているのかなと思うのですが、それで間違いないでしょうか。

○社会教科責任者 さようでございます。説明のところでは、写真のことを例に出しましたけれども、審議した内容については書かれておりでございます。全体の単元を貫く学習問題とか、そういうものの相性が非常に帝国書院がいいというふうに考えたところでございます。

○委員 1枚目の調査表を見たときに、特に今回から学習、いわゆる教科書が替わる東書さんと帝国さんを調べたときに、東書さんが丸で、帝国さんが二重丸になっているところを見ると、2の(2)、(3)と3の(1)がそれに当たるかなというふうに思います。ここの違いのところを見ていくと、2の(2)については、いわゆる章ごとで学習を始める前にイラストなんかで読み取りということでテーマを持ちやすいということで、2枚目の適当と認めた理由と関連してきます。それから、3の(1)の単元配列の部分は、全体的に単元を通して問題意識を持ちやすいのだと、ここも一致する部分があります。ところが、2の(3)、主体的云々という部分のところなのですが、これ帝国さんが二重丸になって、東書さんが丸なのですけれども、評価の適当と認めた理由を見ると、教出さんの評価しかないのですが、ここは、帝国さんの評価はどのような評価をなされていたのか。

恐らく後ろの3枚目のところにある黒ポツの2番目、学習課題、確認しよう、説明しようで1時間

の学びを焦点化すると、学んだことを生かして自分の考えを深めるような呼びかけがあり、主体的、対話的な学びに結びつくように配慮されていると、ここに記されているので、この1項が(3)のところに入ってこない、教出さんが丸で帝国さんが二重丸という理由づけにならないかなと思うのですが、いかがでしょうか。

○社会教科責任者 確かにおっしゃるとおりかと思います。二重丸がついたところについて、適当と認めた理由のところ書き込むような心がけをしたのですけれども、落ちている部分がございます、ここについてはちょっとあやふやだったなというふうに思っております。ただ、審議につきましてはしっかり行ったところでございます。

○会長 ほかにございますか。

○委員 歴史と公民に関しましては、引き続き東京書籍ということでしたが、丸の数や中身等を拝見させていただいて、帝国さんも同じような感じに丸がついていたのですが、あえて東京書籍を引き続き使うことにした理由、また特色等ありましたら教えていただきたいと思います。

帝国書院さんも歴史、公民とも非常によくまとめてあって、歴史分野だと長野県と満州との関わりについて唯一言及している教科書、また公民についてはロールプレイングで考える点が、保護者側から見て、実際に生徒に、生徒というか、子供たちの学ぶ上ではロールプレイングというのは非常にいいかなんて思ったのですが、東京書籍が劣っているということではないのですが、あえて東京書籍を選んだ特色が何かありましたら教えていただけたらと思います。

○社会教科責任者 東京書籍、今回一番大きな理由となったのが、文章が短めにまとめられていて読みやすいというふうなところでございました。地域素材についてもみんなで探したりして、出したわけですけれども、確かにそれがいいという意見もあったのですけれども、全体的に読みやすく、学ぶきっかけが多い東京書籍のほうが優れているのかなというような判断でございます。ただ、これにつきましても個々の生徒ですとか、学び方によって、どちらが適しているというふうに100%は言えないなというふうに思っているところで、全体的なつくりとして東京書籍を取ったほうが分かりやすいかなというふうなところでございます。

○会長 ほかにございますか。

○委員 資料がすごく大事ななというふうに思いながら全部見させてもらったところ、資料の見やすさとか分かりやすさで見っていくと、東京書籍と帝国書院の2つがやはり全部ぬきんでているかなという感じで見させてもらいました。地図を見させてもらったところ、イラストとか史跡とか名勝とか動物がいたりとか、すごくリアリティーのある分かりやすい表示というか、表記の仕方がしてあって、社会が苦手な私でも目に飛び込んで、見たいなという気になりました。

あと、字体が丸ゴシックになっていて、本当に目に優しいというか、長時間見ても疲れにくいというような形になっていたのも、特に地図など細かいことがいっぱい書いてあるので、それがすごく重要な点かなというように思いました。先ほど委員長先生のほうで言われた地図と地理との相性のよ

さというのを考えたときに、やっぱり帝国書院のほうがいいと思ったので、そこから考えると地理のほうも帝国書院で合わせて両方使いながらやっていくのがベストかなというふうに感じましたので、発言させていただきました。

以上です。

○会長 委員長さん、何かありますか。

○社会教科責任者 ありがとうございます。確かに地理は、文章とかグラフの細かい数値というよりも、眺めた感じとか印象ですとか、そういったところから興味を持つということがとても大きいので、今先生おっしゃられたような観点でご発言いただきまして、ありがたいなというふうに思いました。

私どもが選定において大事にした点もそのところでございます。

○会長 ありがとうございます。

ほかよろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

○会長 では、ないようですので、選定に入ります。

社会についてであります。地理が帝国書院、歴史、公民が東京書籍、地図が帝国書院の教科書を選定することとしてよろしいでしょうか。賛成の場合は挙手をお願いいたします。

〔挙手多数〕

○会長 ありがとうございます。

それでは、賛成多数と認められますので、社会については今の出版社名の教科書を選定することといたします。ありがとうございました。

それでは、数学について調査研究委員長、自席で座ったままでよろしいですので、調査研究結果のご報告をお願いいたします。

○数学教科責任者 では、数学です。

5名の調査研究委員で各社の教科書を調査させていただきました。調査する中、各社とも数学的活動を通して思考力、判断力、表現力等を養ったり、興味関心を喚起しながら主体的に学びに向かう態度を養ったりできるよう配慮がなされていることが伝わっていました。特にそう感じた部分をⅡの適当と認めた理由の表にまとめさせていただきました。

そのような中、調査研究委員会で啓林館の教科書、「未来へひろがる数学」を選定した理由を7点述べさせていただきます。1点目、学びをひろげる場面や問題を解決する場面で役に立つ考え方を、たいせつな考え方として顕在化させ、分かりやすく表現することで数学的な見方・考え方を体得できるよう工夫がなされています。数学を学ぶ上で大切な数学的な見方・考え方を生徒が働かせることができる、また意識することができる工夫です。

2点目、節の先頭には、学習のとびらを配置し、身の回りの題材などを取り上げ、数学が生活や社

会で有用に働いていることを実感しながら、興味関心を持って学習に向かうことができるよう工夫がなされています。この学習のとびらの中には、QRコンテンツや言語活動のコーナー、説明しよう、話し合おうを配置して、主体的・対話的で深い学びを実現できるような工夫があります。

3点目、単元に〇〇の利用の節を配置し、問題発見・解決の過程を取り入れたステップ方式の課題を設け、自ら問題を発見し、解いた問題をさらに深める力が身につくよう工夫がなされています。与えられた問題をただ解くだけでなく、自ら問題を発見して解決し、解いた問題をさらに深める力が身につくことを狙ったステップ方式です。

4点目、補充問題や解答、解説をQRコンテンツに移行することで、ページ数を削減しています。また、問題解説コンテンツでは問題を解くための考え方、途中式を含めた詳解、問題の解き方を解説した動画を用意し、一人一人のペースに合わせて問題に取り組めるよう工夫がなされています。

5点目、数学の世界や身の回りで活用する課題を掲載した学びを生かそうでは、リンクマークを配置して関連題材があることを可視化し、学んだ数学を使ってその課題を解決することを通して、数学を学ぶ意義や有用性を実感しながら、新たな学びに向かえるよう工夫がなされています。題材の中には、SDGsに関連するものもあります。

6点目、各章末には、章末問題に豊富な問題を用意し、学習内容の定着を図れるようにするとともに、生徒自身が学びの過程を振り返って評価し、改善を図れるよう工夫がなされています。

7点目、ふりかえり算数を配置して、算数での学びを確認したり、学びをいかそうで高校数学に関連する発展的内容を取り上げたりしながら、小中高の学習を円滑につなげられるよう工夫がなされています。算数での学びを確認したり、高校数学での学びを想像させたりしながら、スパイラルな学びが構想できそうな工夫です。

以上が啓林館の教科書「未来へひろがる数学」を選定した理由となります。よろしくお願いいたします。

○会長 ありがとうございます。

それでは、ただいま報告をいただきました数学につきましてご協議をいただき、選定をしまいたいと思います。

何かご質問、ご意見ございますか。

○委員 保護者の立場からの意見としまして、先生方選ばれた啓林館、ICTを活用して図解を追って数学を分かりやすく解説してくれているところが大変特色があってよかったなど、保護者の観点からしても感じました。特に中学に入ってから数学に移りますと、個々人の理解の差がかなり広がってきまして、やはり図を通して答えを導く部分というのがとても大切になってくると感じます。その点でICTを活用して自分で何度も振り返ったりできるということが、教科書の中で非常に分かりやすく啓林館さんは使えるようになっていたので、その点をアピールして子供たちがつまずかずに授業を進めていけるような配慮をしていただけたら、より学習の理解が深まるのではないかというふうに感

じました。ありがとうございました。

○会長 ありがとうございました。

委員長さん、何かありますか、それについては。

○数学教科責任者 私どもも感じている部分です。今ご指摘のあった学力差がつきやすい教科でもあると思いますので、今おっしゃっていただいたことを大事にしながら、丁寧な教科指導に努めたいと思います。

○会長 ありがとうございます。

ほかにありますか。

どうぞ。

○委員 私、理科と数学のほうに特に興味があって今回見させていただいたのですが、特に理科の1年生のところで関数に関わる地震の非常につまづきが多い部分です。数学のこの啓林館、ほかにも見させてもらったのですが、啓林館で緊急地震速報という形で、やはりリンクしているように教材をきちっと扱いながら、ここでも他教科を含めながら関連づけて、さらに理解を深めていくというような教材というか、教科書選定というのは、とても私としてはありがたいなというところでした。理数だけに限らず、他教科の国語でも理科を扱ったりとか、幅広く横断的な学習というのもそれぞれいい教材を選んでいただいているなど感じています。そういった意味で、いい選定だったなと個人的に思いますし、以前よりもやはり図であるとか表であるとか、そういったものがはっきり大きく示されていて、生徒の立場で見たときに、これは分かりやすいなという感覚を覚えました。

以上になりますけれども。

○会長 ありがとうございました。

委員長さん、ありますか。

○数学教科責任者 数学の世界で閉じることなく、身の回りや、おっしゃっていただいた他教科との関わりについて考えて作られている教科書だなと実感しております。

○会長 ありがとうございます。

ほかよろしいでしょうか。

[発言する者なし]

○会長 では、ほかは特にないようですので、選定に入ります。

数学ですけれども、新興出版社啓林館の教科書を選定することとしてよろしいでしょうか。賛成の場合は挙手をお願いいたします。

[挙手多数]

○会長 ありがとうございました。

では、賛成多数と認められますので、数学の教科書は啓林館の教科書を選定することといたします。ありがとうございました。

それでは、理科について調査研究委員長、自席で座ったままでよろしいですので、調査研究結果の報告をお願いいたします。

○理科教科責任者 まず、調査表から御覧ください。どの教科書も工夫されて仕上げられている、そんなところが見えてきました。その中でも東京書籍さんのところで生徒の学習意欲を高めるように配慮がなされている、そういった部分が特に優れていると感じました。

続いて、2枚目、適当と認めた理由を御覧ください。教科書と併せて説明させていただきたいと思います。2年生の71ページは科学の分野になります。こちらは、質量比を使って計算をすることができる、そんなところに着目していく場面になります。こちらのところでは、QRコードがあって、他教科の内容というものが書かれています。このQRコードを読み込むと、数学の比の部分に飛んでいくようになります。2番の(1)に書かせていただいておりますが、既習事項や関連する内容をこれまでに学んだことで示され、他教科の学習内容もQRコードで載っており、生徒の実態に合わせて関連づけて学ぶことができるように工夫されています。

それから、(2)にありますように、レッツスタート、問題発見から教科書の流れと生徒の思考の流れが連動しているため、安心して授業に参加することができるように工夫されています。

それから、(5)ですが、AB判になったことで読みやすくなっております。あわせて、紙質もめくりやすく、光の反射も少なく、見やすくなっています。

続いて、3年生の教科書のところでご説明させていただきたいのですが、レッツスタートのところでは水溶液と電流の12ページになるのですが、水に電流は流れるのだろうか、こういった問いから学習を組み立てていく、そんな流れになっております。そして、イオンの学習になっていくわけですが、42ページでは塩化ナトリウムの結晶、子供たちに身近なものも写真として載っております。それから、43ページのところでは中和について説明があります。イラストでも分かる部分があるわけなのですが、ここにもQRコードがあります。シミュレーション、こちらもタブレット端末で読んでみると、酸性から中性、アルカリ性、水素イオンの減っていく様子、それから水酸化物イオンが増えていく様子、そんなところが確かめられます。ICT機器をうまく活用できる、そんなような構成になっているかと思えます。今のところが表では3番の(5)のところと重なってくる部分です。

そして、一番下、4番の(1)ですが、導入の場面で身近な事象を紹介するなど、問いを見だし、主体的に探究する力が育まれるように工夫がなされています。また、QRコードが豊富にあり、個別最適な学びにつながる工夫がなされていると感じました。

以上のことから、3枚目になりますが、東京書籍「新しい科学」、こちらを委員として選定させていただきました。理由の部分、1から5までございますが、先ほど申し上げました部分と重なってくるかなと思います。

最後に、理由の5ですが、単元、それから章の始めと終わりにビフォー、アフターが設定されてい

て、学習を通して得た知識や学び方の変容、それから高まり、そういったことをまとめられるように構成されています。そうすることで自己肯定感を高めていくことができるような工夫がなされていると感じました。

以上で説明を終わりにします。

○会長 ありがとうございます。

それでは、ただいま報告していただきました理科につきましてご協議をいただき、選定をさせていただきます。

何かご質問、ご意見ございますか。

○委員 意見とかではなくてお願いしたいことなのですけれども、理由のところにも書いてあるQRコードですごくたくさんコンテンツがあります。各学年で250前後、全部で700か800くらいのコンテンツが入っているということで、私も興味を持って見させてもらった中で、ほかの業者と比べてやはり見やすいし、分かりやすいと思いました。しかし、ちょっと操作してみたら途切れ途切れになったので個別最適な学びにとってはすごくQRは大事だと思うので、大丈夫かどうかという辺りは確認してもらって、もし不都合があれば業者とかに連絡取って、改善していただくような方策を取っていただきたいなというふうに思って、ご意見させていただきました。

○会長 委員長、何かありますか。

○理科教科責任者 私が見たところでは、そういった途切れるという現象はなかったのですが、環境によってはそういうこともあり得るということで承知したいと思います。ありがとうございます。

○会長 私もQRをいっぱい見たのですけれども、他の教科も。理科が一番楽しかったなというふうに、自分が苦手なものですから。そんな思いをしました。

○委員 適当と認めた理由のところには教科書の出版社の名前がないのですが、これは二重丸のことをここにこんなふうに記述したというふうに捉えていいでしょうか。

○理科教科責任者 二重丸の部分でというふうに読んでいただければと思います。

○会長 ほかありますか。よろしいですか。

[発言する者なし]

○会長 では、特にないようですので、選定に入ります。

理科についてであります、東京書籍の教科書を選定することとしてよろしいでしょうか。賛成の場合は挙手をお願いいたします。

[挙手多数]

○会長 ありがとうございます。

では、賛成多数と認められますので、理科については東京書籍の教科書を選定することといたします。ありがとうございます。

それでは、音楽について調査研究委員長さん、自席で調査研究経過の報告をお願いいたします。座

って報告をお願いします。

○音楽教科責任者 こんにちは。よろしくお願いします。

音楽科の教科書は2社ですが、全員一致で音楽一般、器楽ともに教育芸術社を選定いたしました。選定した主な理由を説明いたします。

まず、音楽科で身につけられる資質、能力が一目で分かる工夫がされています。目次に続くページで、両社とも学びの地図や学習マップに学習内容や教材を提示しています。特に教育芸術社では、各教材を通して自分がどのような音楽の力を身につけられるかを確認できる工夫がなされています。

(教科書を提示) このようなページになります。歌唱、創作、鑑賞というような領域、それから教材が全て並んでおります。そこでつけられる力、資質、能力がここに書かれていますが、どの曲で何の力をつけられるかが一目で分かるように工夫がされています。

次に、主体的、対話的で深い学びの実現に向けての工夫についてです。教育芸術社では、学びのコンパスというページが新設されています。(教科書提示) ここに①から④まで、各活動の内容が示されています。この手順に沿って学習を進めることで、主体的、対話的で深い学びが段階を追って学習を深められるような工夫がなされています。

続いて、分かりやすさという点での工夫についてです。まず、各教材の曲名の下にその楽曲がどのような楽曲なのかを簡潔に示した紹介文と、学習目標に迫るための具体的な学習活動の例が緑の枠の中に示されています。(教科書提示)そして、全楽曲、ページの左側に学習目標の例が示されています。この目標を意識して主体的に学習に取り組むことができるように工夫がされています。

また、学習指導要領で共通事項に示されている音楽を形づくっている要素、(教科書提示)例えばここに、速度とか旋律、強弱といった各要素が、この楽曲で何が使われているかというのが一目で分かるように示されています。音楽的な見方、考え方を働かせる際の視点が一目で分かるように工夫がされています。

さらにこの楽曲で考えたいポイントを、問いかけの形で掲示板の中に示され、生徒が課題意識を持って主体的に学習に取り組めるように工夫がなされています。

また、題材ごとに人物のイラスト、吹き出しがあり、この吹き出し等によって生徒が主体的に学べるようにヒント等が示されています。

次に、ICTの活用についてです。両社とも現行の教科書から二次元コード、QRコードがつくようになりましたが、今回の教科書からはより多くのQRコードがついています。特に教育芸術社の教科書については、ほとんどの曲に上とか下とかにQRコードがついています。このQRコードで何ができるかというと、(タブレット端末で実際に提示)例えば歌唱の場合ですが、楽曲と、こういった風景、楽曲の映像等を視聴することができるようになっています。

鑑賞では、譜例が示されて、ここで音を聴くことができます。創作では、教育芸術社では無料の創作ツールがついております。これはリズム創作のツールですけれども、上にカードがあって、それを

この下の枠に自分で引っ張っていくことができます。こうやって自分でリズムを入れていくことができます。これを再生することができ、既に伴奏がついています。リズムなので、手拍子だけなのですが、このようなツールが無料で使えるようになっています。

器楽の領域では、様々な楽器の演奏の仕方等を動画で観ることができます。今までは、指導書についているCDやDVD等でしか観ることができませんでしたが、QRコードから視聴できるようになっています。また、リコーダーの伴奏がついていたり、楽曲も歌唱の曲のカラオケ用の伴奏がついていて、それに合わせて歌ったり、歌の練習ができたりといったようなことができます。そういったことから、個別的な学びにも対応しているということができるかと思えます。

また、教育芸術社では、生徒の興味関心を引き出すという、好奇心に働きかけるような内容が充実しています。(教科書提示)例えば1年生の教科書、この方ご存じでしょうか。上白石萌音さんですが、ミュージカル等で活躍されております。この方の動画も観られますし、野口聡一さんですとか、2、3年だと歌舞伎のところでは松本幸四郎さん、市川染五郎さんとか、各界で著名なアーティスト等が多く取り上げられていたり、様々なジャンルの音楽も紹介をされたりしています。Jポップ、バンド、ロックがあったり、様々なジャンルのコラボ、様々なJポップとロックとかのコラボも紹介されています。

そのほか、道徳教育や人権教育、国際理解、SDGsに対応する配慮や特別支援教育の視点に立った配慮、ユニバーサルデザインの配慮等がされています。また、我が国や郷土の伝統音楽とかお祭り、芸能を取り上げています。教育芸術社では、47都道府県全ての県の芸能等を扱っているページがあります。

このようなことを総合的に判断して、教育芸術社がよいのではないかと判断をいたしました。

○会長 ありがとうございます。

それでは、ただいまご報告いただきました音楽につきましてご協議をいただき、選定をしまいたいと思います。

何かご質問、ご意見ございますか。

○委員 意見というわけではないのですが、子供の興味関心を引いたり、広げていくということとはとてもいいということを今お聞きして分かったのですが、ただ何か自分で読ませていただいている、ちょっと怖いなと思ったのは、例えばワークシートがダウンロードできる、例えばこの管内の全部が同じワークシートが同じように勉強しているなんて、何か嫌だなということをおもったので、そんなのはぜひいろんなところで工夫してほしいなということをおもいました。

以上です。

○会長 委員長さん、何か。

○音楽教科責任者 ダウンロードはできるのですが、印刷をしないと出てこなくて、そのまま書き込んだりということではできないので、指導する側、それから学ぶ側でもこれを基に、あくまでもこれは

ヒントとして活用する。もちろん我々教師は、教科書を見ながら独自でワークシート等も作っていると思いますので、学習の時間数や内容に合わせて工夫をしていきたいと思います。ありがとうございます。

○会長 ありがとうございます。

ほかにございますか。よろしいですか。

[発言する者なし]

○会長 では、特にないようですので、選定に入ります。

音楽について、器楽も含めてですが、教育芸術社の教科書を選定することとしてよろしいでしょうか。賛成の場合は挙手をお願いいたします。

[挙手多数]

○会長 ありがとうございます。

では、賛成多数と認められますので、音楽については教育芸術社の教科書を選定することといたします。ありがとうございました。

それでは、美術について調査研究委員長、自席に座ったままで結構ですので、調査研究結果の報告をお願いいたします。

○美術教科責任者 では、よろしくをお願いいたします。

美術科としては、まず自分が何かしらの視点思をもって追求できるようにすること、その追求をしていくことで最終的にどのような成長をしたのかということを実感できるようにしないといけないと思います。小学校の6年間をかけて培ってきた様々な造形的な視点というものを自分なりにもち、それを追求の視点にして、探究的に学んでいく、つまり、問いを持ち、どうしたら表現できるのか、どういうふうに考えたらいいかということをお繰り返していくことが大切だと考えます。その結果、最後に自分がどのように成長したのかということが、子供自身が学んでいけるようになると考えます。

美術科調査研究としては、日本文教出版社の教科書を考えています。日本文教出版社の教科書には、作品の横に作者が込めた思いなどが記載されています。さらには、様々な材料との関わりとか、視点を変えると「こんなふうに見える」というような様々な見方や感じ方の違い、作者も子供たちもどのようにアイデアを練っていったのかというアイデアを練る過程、作者がどのような思いや考えをもっていたのか、どのような作品があるのかという参考例もたくさん掲載されているかなと思います。そうすることによって、子供たちが自分が何を発想のきっかけにしたらよいのかということのきっかけにもなるだろうし、我々教師も、ではこのように子供たちが考えたとする、ではどのように展開していったらよいのかという発展の手がかりがつかめるのではないのかなと思います。

その上で、報告書に書かせていただきましたが、全ての題材において鑑賞から入り、追求があつて、最後は鑑賞で終わるという展開の教科書のつくりになっています。これは、まず作品を見ることで、

自分たちがどのようなことをしたいのかということを考えたり、どんなことができそうなのか、自分はこんなふうにしてみたいなという意欲を持ちます。造形的な視点が据えられているので、自分が捉えた造形的な視点と比べながら、「僕はこの視点で追求してみたい」「私はこんなことを感じるのだ」という考えもとにしなが、探求を始め進めることができます。そして最後お互いの作品を見合うことで、「自分はこんなふう成長してきたのだ」「こんなふう考えてきたのだ。だからこんなふうによさがあるのだ」と成長を実感することができます。最終的には、様々な作品や生活の中の美術とつながりをもてる展開になっているので、「自分が考えていること、やってきたことは最終的にこういう生活につながるのだ」「こういうのに生活に生かされてきているのだ」という生活に結びつけて学びを捉えられるようになっていないかと思ひます。そうすることで、問いを持ち、追求をし、最後振り返って、次の意欲をもつという自分の成長を感じられるような授業展開がつけられると考え、本教科書をと考えました。

以上です。

○会長 ありがとうございます。

それでは、ただいま報告をいただきました美術につきましてご協議をいただき、選定をしまひたいと思ひます。何かご質問、ご意見はござひますか。

○委員 先生のご発表のとおりだと思ひながら聞かせていただきました。私も教科書を3冊比較させてもらったのですが、開隆堂さんはお手本のレベルがすごく高いような気がして、これを見たら生徒がちょっと自信をなくしてしまうのかなと思ひながら見させてもらひました。日文さんはこういうふうに出ればいいよと幾つか紹介してあって、自分ならこれにたどり着けそうだなとか、自分ならハイレベルのほうへいきそうだなという感じで、学びたくなるとか、できそうだとか、やってみたいという動機づけがすごく上手に構成された教科書だと思ひましたので、日文さんがいいのではないかという委員長さんのお話でいいと思ひました。

以上です。

○会長 ちなみに委員長さん、何か今のコメントを聞いてありますか。

○美術教科責任者 ありがとうございます。確かにほかの2社の教科書も見応えはあると思ひるので、インパクトはあると思ひます。しかし、結果的にはいわゆる芸術的なもの、大人から見た価値観や質の高いといひましょうか、いわゆる芸術家が作った作品といった感じがして、子供たちそれぞれが今もっている資質や能力によって求めてきたものとはかけ離れていくことになりかねないかなというように思ひます。

○会長 ほかにござひますか。

○委員 今おっしゃられたように、鑑賞から入って、いろんな作品が例示されていたなというのは間違いなく特徴として感じました。特に子供たち、私も小学生の子供たちがいるのですが、その発想力とか創作力というのは日々見ても大人が感じ取れないような部分を持っていたりですとか、今子

供たちの間ではやっているマインクラフトなんかも、私やってみると全然決まった形なのですけども、子供は本当に温泉を作ってみたとかとあって、この間ももくもく燃えている木をたくさん植えて、その上にブロックを積み重ねて、その上にさらに別のブロックを積み重ねて、これで温泉にしてみたとか、すごい発想力だなと。ですので、特に美術系とか音楽系の教科書というのは、教えるというよりも気づきの観点を最初に大事にしているところが子供たちにとっては大事なのではないかなという点で、非常にその鑑賞から入って、子供たちがどう捉えるかというところを学びに生かして、では自分だったらこう表現するよと、どんな表現があってもいいのだよというふうに広げてあげることで、子供たちの肯定感というのが高まるのではないかなというふうに感じたので、すごくよく見ていただいて、いい教科書を選んでいただいたのではないかなというふうに感じました。引き続きご指導よろしくお願いいたします。

○会長 ありがとうございます。

委員長さん、何かありますか。

○美術教科責任者 とてもありがたいなと思います。本当に子供たちの発想というのはやはり我々の考えを超えていくので、その考えを否定したり、狭めたりしないようにするということが、それぞれの子供たちが考えていることを引き出してあげることが大事だと思います。

ただ、そうすると1点気を付けたいことが出てくると思います。それぞれ別々の発想が出てくると、個々それぞれのものがよいからといって、授業者が行う評価が、「あなたもいいね」「この子もいいね」ということになりかねなくて、では授業で何をねらったのかということが分からなくなってしまうことがあるのではないかなと思うのです。そう考えると、造形的な視点が据わっていて、その点で「自分はこういうふうな考え、こういうふうな感じているのだ」ということが、自分の学びにもなっていて、それを先生も理解をして受け止めて評価できるので、子供の成長と教師の見取りが一致して、「僕はこんなふうな成長できたのだな」と最後振り返りができるようになると思います。ありがとうございます。

○会長 ほかにありますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○会長 では、特にないようですので、選定に入ります。

美術についてであります。日本文教出版の教科書を選定することとしてよろしいでしょうか。賛成の場合は挙手をお願いいたします。

〔挙手多数〕

○会長 ありがとうございます。

では、賛成多数と認められますので、美術については日本文教出版株式会社の教科書を選定することといたします。ありがとうございました。

それでは、技術・家庭科について調査研究委員長さん、自席で座ったままで結構ですので、調査研究結果の報告をお願いいたします。

○技術・家庭教科責任者 よろしくをお願いいたします。それでは、私のほうから技術・家庭科の結果についてお伝えさせていただきます。

まず、技術科のほうですけれども、教科書を選定した理由書に書いていますとおり、大きく5つの他者に比べて特に優れた点につきまして報告をさせていただきます。まず、1点目ですけれども、他者にはない電気回路のシミュレーションコンテンツがあるということであります。技術の電気回路では電気の勉強もするわけですが、各電気回路の勉強もしたり、実際に電気の回路を組んで電気のつけ方等について考えさせる場面があるわけですけれども、実際のもの、スイッチとか電池ですとか導線、そういうものをそろえるのも大変というか、あまりたくさんはそろえられないので、限定した回路になってしまったり、あとはけがの予防ですとか、そういうことにもつながったりするというような観点から、このシミュレーションコンテンツがあるというのは非常に授業者にとって有意義なコンテンツになっているということであります。

それから、2番目として、統合的な問題解決の実践事例ということで、東京書籍さんについては非常に近未来的なものを扱っています。他社のものについては、比較的身近なものを扱っているのですが、東京書籍さんについては近未来的なものということで、これから大きくなっていく子供たちにとっては非常に夢があるというか、そういう意味で技術の有益さというのが、こういうことが技術の勉強につながっていくのだということを示す上で、大変子供たちの技術の学習意欲を喚起するものにもなるのではないかというふうにも考えます。

3番目ですけれども、章末に大切な用語の確認というのがあります。これは、他の教科書にはないものでして、しかもそれがどこのページに載っているかということがページ数まで記載されておりますので、子供たちが何か困って用語を調べたりとかいうときに非常に有効な材料になっていると。これも他社にはないものであります。

4番目ですけれども、これも非常に大きな特徴なのですが、今動画とか、そういうコンテンツも非常に充実してまして、教科書に全部QRコードがついておりますので、そこを生徒が読み取るといろいろな動画や画像が見られるようになっているわけですが、東京書籍さんのものについてはその動画についている部分のQRコードを読み取ると、そのままその動画がすぐに再生されると。他社のものは、1回QRコードを読み込むと、コンテンツが一覧で出てくる、そういうサイトに1回飛んで、そこからまたそのコンテンツの内容にいくというステップが多くなるのです。そういうような点から、東京書籍さんのコンテンツは非常に使いやすい。子供たちにシームレスな提供ができるということも大きな特色だと思います。

最後に、巻頭のガイダンスですけれども、先ほどの話ともリンクするのですが、東京書籍さんのものについては非常に夢がある。技術というのは夢のある勉強なのだよというようなことを前面に押し

出したり、最適化という、これから生きていく子供たちにとっていろんなものをつくる時にコスト面、環境面、社会のニーズ等々、そういうことを最適化してやっていく必要があるというものについて非常に丁寧に扱っているということでもありますので、これから子供を待っている世界にとっては、そういう面からも技術の学習の必要性に係るものがあるのではないかというふうに思います。

家庭科のほうについては、主に6点、東京書籍さんの他社と比べて有益な特徴について述べさせていただきます。

1点目、これが非常に大きな点かと思えます。題材の配列が衣食住の自立的な内容から家族と家庭生活の共生への発展的な学習配列になっているということで、他社のものは家庭生活から入って、そして個人の食というような内容、そういう流れになっています。やはりまず自分を知ったり、自分のことを考えたりするところで他者にも考えが及んでいくという系統的な流れ、自然な流れかなと思います。そういう面で、東京書籍さんの教科書を使うようになってから、非常に授業者もそういう点では授業がやりやすいというような話を聞いております。

2番目ですけれども、レッツスタートという項目が各ページの初めにありまして、生徒が学習をするきっかけ、学ぼうとするきっかけについて丁寧に扱っているというところがあります。ほかの教科書でもそのような内容については記述されているのですが、東京書籍さんのほうについては主体的に関われるような、あなたはどう思いますかというような投げかけになっていて、まず自分で考えて、それで周り意見交換してというような、そんなところから主体的かつ対話的に学びが進められるようなコンテンツが含まれているというところが大きいかと思えます。

3番目です。これも非常に大きな特徴ですけれども、6つの基礎食品群のページが厚紙で印刷されております。しかも見開きで折り込みになっておりまして、これは家庭科の授業では大変頻繁に使う資料なのだそうだけれども、ですので使ってもぼろぼろにならない、ハードユースに耐えられると、そういう作りになっているというところではあります。

4番目は、これが先ほど技術科のところでも申し上げたものと一緒になりますが、大切な用語の確認があるということ。

それから、5番目としてQRコンテンツが373コンテンツということで、他社と比較しても多くなっているということがあります。

それから、最後に掲載されている写真、資料、イラスト等の量、質とも他社と比較して適切である。他社のものは多過ぎて、情報が多過ぎて、子供たちが混乱するのではないかというようなところもあったり、あるいはちょっと少な過ぎて、もっと学びたいという子にとってはちょっと物足りない部分があるのではないか。そういう部分では、非常に質、量とも適切であるというところがあります。

以上の理由から、技術・家庭科については東京書籍の教科書が適切であると判断しました。

○会長 ありがとうございます。

それでは、ただいま報告いただきました技術・家庭科につきましてご協議をいただき、選定をして

まいりたいと思います。

何かご質問、ご意見ございますか。

○委員 特に技術科のほうについてなのですけれども、教科書を選定した理由のところがとても分かりやすい。どうして東京書籍を選んだかというのがすごく端的に書いてあって、とてもいいと思いました。私が技術・家庭科の教科書を知っているというわけではないのですが、どうして選んだのがよく分かりました。今お話を聞きした、自分でチームでつくって何だとか、統合的とは何だとか、調べたのですが、ボタンをクリックするだけですぐというあたりも、今おっしゃってくださった、コンテンツも選択しなくてもすぐにいけるのだとちょっと付け加えるともっとはっきりするし、この次の他社の教科書にもうんと参考になるのではないかなと思いますので。

以上です。

○会長 委員長さん、何か今のことでありますか。

○技術・家庭教科責任者 ありがとうございます。やはり授業する者にとってのシームレスな対応というのは、もちろん子供たちに意識に対してですけれども、大事な部分かと思います。改めてその点、また委員とも共有していきたいと思います。ありがとうございます。

○会長 そのほかにありますか。

○委員 東京書籍さん、ここに先生のほうも上げていただいておりますが、用語の確認というところは私非常にいいコンテンツだなというふうに感じました。昨今やはり非常にメディアや教科書ではないですけれども、世間で使われている言葉でも、やはり言葉に慣れ親しんでいる子と全く初めて聞く子で差が生じている部分があると思います。そういった中で、やはり教科書の中でこの言葉についてはこうだというふうな解説が載っているというのは、まずその取っかかり、言葉を知っている、知らないという部分の解消にもつながるという点で非常に東京書籍さんは、これありがたいコンテンツだなというふうに。私たちが実際に生活していても聞いたことのないような片仮名文字の言葉というのが最近増えてきていますので、子供たちに何それ、何ていう言葉なのというふうに聞くようなことも増えていきますので、そういった言葉の解説について載っていたのは非常によかったのではないかなと。ですので、そこは大いに東京書籍さんのアピールポイントということでアピールしていただいて、また子供たちにも上手に活用していただいて、言葉、知っている知らないという格差がなくなるように引き続き努めていただければ助かると思います。ありがとうございました。

○会長 今の点については、委員長先生、どうですか。

○技術・家庭教科責任者 私もこの教科書を初めて見たときに、すごくいいなというふうに思いました。さらにこれは学習のまとめという、本当に章の一番最後の復習の内容になっているものでして、ただその言葉が書いてあるだけではなくて、次の語句を自分の言葉で説明しましょうなんていう問題形式にもなっていますので、より一層例えばテストの前ですとか、そういうときには生徒たちが有効に使える形になっているかと思っておりますので、しっかりとアピールをしていければというふうに思いま

す。ありがとうございます。

○会長 ありがとうございます。

よろしいですか。

○委員 では、1点質問をお願いします。

中学校で情報教育を扱う教科というのはどの教科になるのですか。小学校では、総合とか特別活動等で扱っていくのですけれども、どこですか。

○技術・家庭教科責任者 情報教育というくくりでいけば、リテラシー等も含める形になるかと思えますので、そうすると道徳も含め、いろんな教科で横断的に扱うことがあるかというふうに思います。例えば国語の題材の中にもそういったものを扱っているものもありますし。ですので、いろんな教科で横断的にやっているところだと思います。技術については、プログラミングというところでありますので、物作りに関わる部分に、技術部分ではそういう分野になってくるかと思えます。

○委員 何で質問させていただいたかという、全ての教科書に情報に関わる内容が結構なページ割かれていたので、技術で少し力を入れているのかなみたいな形で考えさせていただきました。特に東京書籍はリテラシーやモラル、それから情報を扱うことのメリット、デメリットを、より具体的に解説してあって、子供の具体的な事例で書いてあったので、すごくアピールする点かなと思いつつ、どこにも明記されていなかったのか、どの程度技術科で扱っていくのかということで質問させていただきました。もし技術でどこかしら扱うようであれば、それも載せていったほうが、この教科書を使うことのよさということで載せていけるのかなと思ついたので、ご参考をお願いします。

以上です。

○技術・家庭教科責任者 ありがとうございます。情報の部分についてはこれからどんどん変化したり、一番大事な部分になってくるかと思つたので、その分しっかりと係っているところについてはアピールして、盛り込んでいきたいと思つています。

○会長 ありがとうございます。

ほかによろしいですか。

〔発言する者なし〕

○会長 では、ないようですので、選定に入ります。

技術・家庭科について、東京書籍の教科書を選定することとしてよろしいでしょうか。賛成の場合は挙手をお願いいたします。

〔挙手多数〕

○会長 ありがとうございます。

では、賛成多数と認められますので、技術・家庭科については東京書籍の教科書を選定することといたします。ありがとうございます。

それでは、保健体育について調査研究委員長、自席で結構ですので、調査研究結果の報告をお願いいたします。

○保健体育教科責任者 着座にて失礼いたします。よろしくお願いいたします。では、保健体育です。資料のほうを開いていただきまして、御覧になりながらお話をお聞きください。

保健体育担当では、生徒の学びが主体的なものとなるように深まっていくための一つのツールとしての教科書、また教師が使いやすい教科書という2つの視点で調査してまいりました。また、さらに理想の教科書を、教科書のみが正解というわけではなくて、教科書も再構築された一つのメディアであることを理解し、既存の仕組みを当たり前と考えず、物事を深く考え、多角的に子供たちが捉える力を養うことのできる教科書と定義して、4社の教科書を比較、検討してまいりました。

結論からお伝えしますと、私たちは東京書籍の「新しい体育」を推薦いたします。主な理由としては、東京書籍の教科書は1単元が1単位時間、見開き2ページ構成となっていて、見通しを持って主体的に課題解決に取り組めるような工夫がされています。また、章末に章末資料、巻末には巻末スキルブックが示され、学習したことを発展的に深めることができるような工夫がされています。

調査結果の詳細をかいつまんでご説明します。調査表の1を御覧ください。それぞれ比較してみると、基準の2のところでは生徒の学習活動への配慮の観点で、(1)で見てとれるように、4社の教科書ともに分量、内容、程度が生徒の心身の発達段階に応じて配慮がなされているということで、委員の意見が一致しました。どの教科書も学習課題やキーワードを分かりやすく据えて、子供が見通しを持って学びを進めていけるように工夫されています。

委員会で一番大切にしたい観点としては、基準2のところ、生徒の学習活動への配慮のところの(2)です。2行目からありますけれども、主体的、対話的に課題の解決に向けて学習ができるよう工夫がされているかという点で、これについては二重丸のところを見ていただくと分かるのですが、東京書籍と学研が優れているという分析をしました。東京書籍では、活用する、広げる、学研ではエクササイズや学びを生かすというコーナーを設けて、生徒がより具体的に考えることができるような工夫がされています。大日本図書も大修館書店も学びを深める設問を設けてありますが、2社と比較するとさらに深まる設問であるとよいなという結果になりました。

この観点については、真ん中から下の基準3です。学習指導への配慮、(3)にもあります、体育や保健の見方、考え方を働かせながら、主体的、相互的に関わり合いながら活動に取り組めるような工夫があるかということにも同様な結果となってまいっております。

次に、基準2の観点の(5)番です。読みやすさが生徒の学習意欲を喚起するように配慮がなされているかについてです。生徒が手にとって読みやすい、情報量が適度で、さらに整理されて視野に入ってくるということは大切な要素です。これについては、挿絵やグラフのデータ、その配置位置が東京書籍、大日本図書が大変優れているという意見で一致しました。大日本図書に当たっては、見開き左ページに解説、右ページにグラフや図や写真などが大胆に配置されていて、視覚を働かせての学習

には一番適していると考えます。東京書籍についても、左ページに解説、右ページにグラフや写真などを配置していることで同じなのですけれども、グラフと写真、資料との解説のバランスがさらに東京書籍のほうが分かりやすかったという分析結果になっています。また、東京書籍の「新しい体育」の本文文字のサイズが一番読みやすく、重要語句の太字ゴシック体の文字も視覚に訴え、記憶に残るようなインパクトのあるものとなっています。

最後に、学習の振り返りについてです。東京書籍の学習のまとめには、章末問題のQRコンテンツが2種類設けられております。授業支援ソフトなどを活用して書き込んだり、提出したりすることもできるように配慮されています。問題をQRコードで見ってみましたところ、単元のまとまりを通しての問題もございますし、各章ごとの章問題もありました。これは、個別に自分たちが学んでいくというときに、自分に合ったところを学べるようになっていくということ、優れているという調査結果になっております。

以上の調査結果より、適当と認めた理由の右ページのところにも今のところがまとめあるのですけれども、全体的な特色や一番上の教科書の目標からの配慮という点においても、東京書籍の「新しい体育」を委員会としては推薦したいということで本日提案させていただきます。

以上です。

○会長 ありがとうございます。

それでは、ただいま報告いただきました保健体育につきましてご協議をいただき、選定をしてまいりたいと思います。

何かご質問、ご意見はございますか。

○委員 委員長先生がおっしゃってくださったそのままだと思います。特に選定した理由の最初の2行に書かれている内容が私もすごく感じました。保健体育もいろいろ探求的にやっているのだなというのをすごく思って、問いから始まって学習課題がある。それから、課題解決をして、最後活用して広げるみたいなのが、一連の学習の中でこの東京書籍の本には明確に示されていて、すごく学びやすいなというふうに思いました。学びの見える化というのですか、それが非常につきやすく、分かりやすく、教師も教えやすく、この教科書は扱えるのではないかなと思いましたので、発言させていただきます。

○会長 委員長さん、今のご意見で何かありますか。

○保健体育教科責任者 まさにおっしゃるとおりで、それぞれ工夫されているのですが、なおさら東京書籍のものはそれが分かりやすい、子供にとって学び方が分かりやすく、課題解決に工夫がされていると。おっしゃるとおりです。

○会長 ほかにございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○会長 では、ほかにないようですので、選定に入ります。

保健体育についてですが、東京書籍の教科書を選定することとしてよろしいでしょうか。賛成の場合は挙手をお願いいたします。

[挙手多数]

○会長 ありがとうございます。

では、賛成多数と認められますので、保健体育については東京書籍の教科書を選定することといたします。ありがとうございます。

それでは、英語について調査研究委員長、自席で結構ですので、調査研究結果の報告をお願いいたします。

○英語教科責任者 それでは、よろしくをお願いいたします。

英語の選定委員会では、東京書籍さんの「NEW HORIZON」に決定しました。まず、1番の理由ですが、小中接続の観点から見た場合最もふさわしい教科書だとどの委員も判断しました。例えばどの学年にもユニットゼロが設置されており、前学年までの学習を復習した上で、新しい学年のユニット1を学ぶ構成になっています。どの会社も「はじめに」というページがあり、ユニットゼロ同様の工夫が見られますが、「ユニットゼロ」としてふりかえりからのスタートとしている点は東京書籍さんが顕著だと思います。この点で1年生の教科書は、特に小中接続の意図が色濃く、ユニットゼロからユニット4まで小学校の復習がスムーズに行われるようになっています。そして「小学校で習った単語」が桜印で示されており、これまで耳や言葉で話す活動で慣れ親しんできた単語が、今度は文字化されて新出単語とともに表記されており、小学校で習った単語を1年生のうちに全て復習できるというスムーズな移行になっています。「NEW HORIZON」は、現行で小学生も使っております。そういう意味で、「小学校でこの表現を習ったね」ということをふりかえりしやすいのが、中学でも同じ教科書を使うことかなと思います。

これまで中学校は、開隆堂さんの「Sunshine」を使っております。こちらは非常に使いやすい教科書で、前回の改訂前まで「NEW HORIZON」だったということもあり、当初は少し抵抗の声も聞こえましたが、徐々に先生たちが使い方に慣れ、特に「リテル」というアウトプット活動を高く評価する声が聞こえました。リテルとは、単元の最後に本文の内容を自分なりの英語で言い換え、表現し直すという活動です。こちらがアウトプット活動として教師側にとっては評価しやすい言語活動で、定期的に行うことができ、とてもよいという意見がありました。しかし、リテルは慣れてくると生徒の活動がリプロダクションとあって、本文の再生活動、丸暗記した本文の再生になってしまうことがありました。教科書会社の意図したことと反して、実際には生徒が評価される側として事前に準備をしてリテルに取り組むという問題も出てきました。

2番点目において、「NEW HORIZON」には4技能5領域を活用する言語活動がバランスよく設定されているということです。本文中にアクティビティ1、2、3とステップアップして発展し

ていく活動が仕組まれており、例えばアクティビティ1では、最近の出来事について、「私は昨日の今頃漫画を読みました。その漫画は面白かった。」ということペアで伝え合う。アクティビティ2では、ペアで指定された内容についてインタビューします。最近の出来事だとしたら、指定された昼休みの間とか、昨日の5時頃とか、設定された「いつ」「どこ」において、その時間時刻に、お互いどこで何をしていたかというようなことをペアでインタビューし合う活動。そして、アクティビティ3だともっと自由度が増して、最近の出来事について、「あなたが最近行った場所について、本文を参考にしてペアで伝え合いなさい」など、自分の表現が付け加えられる自由度が高まる言語活動へと発展していきます。3年生になると、さらにユニットアクティビティ、ステージアクティビティというのが位置づけられており、3年生では説明する、発表する、そして最後はミニディベートというふうにどんどん自由度が増して、発展していきます。このように教科書の目指すところが分かりやすい教科書であると思います。

題材も豊富であり、外国語によるコミュニケーションによる見方、考え方を働かせることのできる題材であると思います。その他、登場人物のキャラクターは、ほかの教科書会社さんは、どの登場人物も白人やアジア人が多いですが、「NEW HORIZON」のキャラクターはALTでもアメリカ人とかではなくて、見た目はアジア人だが実は中国系のカナダ人という設定になっていたり、インド人の友達がキャラクターになっていたりなど、多様性が分かりやすい教科書になっているなどと思います。

最後に最も魅力的なところですが、ユニットを貫く問いが、特に2年生、3年生と学年が上がるにつれて、疑問文、で終わっていて、その問いが自分だったらどうする？と単元の最後にその問いに対しての答えを求められるようなまとまりになっています。扉ページはどの教科書会社さんも写真だとかグラフを使っており、イラストではないリアルさがあり、扉ページを大切にしていることがわかります。しかし、「NEW HORIZON」は問い、思考、判断、表現を促す問いかけを大切にしている。それが感じられました。

生徒の学習活動への配慮、学習指導への配慮が適正になされ、教師側にとってもこの単元のこの部分は少し削ってもいいだろうか、ここはこの生徒たちの理解度によってはもうちょっと詳しくやったほうがいいだろうというふうに、ラウンド1、ラウンド2、ラウンド3、あとはアクティビティ1から3までのところで軽重をつけられるかなと思います。

以上の観点から、「NEW HORIZON」、東京書籍さんに決定させていただきました。ありがとうございました。

○会長 ありがとうございます。

それでは、ただいま報告いただいた英語につきましてご協議をいただき、選定をしてまいりたいと思います。

何かご質問、ご意見ございますか。

どうぞ。

○委員 私も先生のおっしゃるとおり全部賛成ですけれども、1つだけ気がかりなことは、2年、3年生になって、「NEW HORIZON」がいいと思いつつも、「Sunshine」を使わなくてはならないと。現行のということで。その心持ちみたいのを委員会では話されたのですか。先生にはちょっと関係ないのですけれども、質問です。

○英語教科責任者 「Sunshine」は非常によい教科書です。中学校教員としては、今回の改定でも負担感なく使用できるという利点もあり、多くの教師がこの教科書が好きです。十分内容が濃いのに教科書サイズも他社より小さく、簡単そうに見せる工夫もあります。また、最初にScenesで、本文で習うべき表現が自然な場面設定で、2行ぐらいの会話のやりとりが出てきます。それを習った後に本文を読む活動、題材もいろいろあるのですけれども、それで読んで考えるという活動があって、最後に一番魅力的だったリテルがあります。しかし評価する側にとってみれば、それに固執してしまうという意見がありました。本当はもっとさまざまな、柔軟な活動が仕組まれているのだけれども、例えばリテルで評価するというふうになると、生徒が本文を丸暗記してきてしまいます。「Sunshine」側の意図としては、リテルを行いながら自分の気持ちを1文か2文で付け加えられ、表現を広めていけたらいいなという活動だったのですが、実際のところ教師側の教え方というのにも影響すると思うのですが、そうではなくなっているというのが現状であると思います。ですので、ここで軌道修正して、もっと柔軟な使い方を私たち教師が模索していくのが一番だと思いました。

○会長 よろしいですか。私も英語科なので、ぜひと言いたいのですけれども、一番の小中の接続連携のところがとても大事で、小学生が「NEW HORIZON」を使っていて、実はすごく変わったのです、小学校の5、6年生の教科書が。かなり変わりました。また見ていただきたい。見ているかもしれませんが。あれを勉強している、子供たちがやっぱり「NEW HORIZON」、今桜印云々とありましたが、ああいうことがあれば、安心して「NEW HORIZON」で勉強できると、それが1点。

それから、アクティビティ1、私見ましたけれども、これ多様なストラテジーだと思うのだけれども、これはやっぱり「NEW HORIZON」は、実は昔からこういうことをやっていて、先生たちもそれに慣れるというといけないけれども、こういうふうに教えていくと力がついていくのだという、そういうことも自信を持ってまた復活させることができるかなということを思っています。

それから、3つ目ですけれども、ご指摘あったとおり、私も全部読みましたけれども、やっぱり多様性のところは「NEW HORIZON」がいいなど。「CROWN」もいいのですけれども、「CROWN」と同等、あるいはそれ以上のダイバシティのところを昔から意識してつくられているなどいうことを思っております。

ほかにありますか。

○委員 よろしくお願ひします。5年生に息子がいます、今年から「NEW HORIZON」の

教科書ということで、先ほど会長さんおっしゃられたように、小学校から中学校への連続という観点から、「NEW HORIZON」を選定していただいたというのはとても心強いかなと思います。小学校の「NEW HORIZON」を見たときに、やはり先ほど先生の3番目に書かれていたような多様性ですとか、そういった点もやはり小学校の教科書にも反映されていたりですとか、英語は私の個人的な意見にはなりませんけれども、教科として学ぶというよりは、なぜその英語を使って世界に出ていくのかという観点からすると、やっぱりいろんな文化を紹介していたりとか、目でぱっと見て、英語をしゃべれたらこんな楽しい世界があるのだなというような工夫が小学校の教科書には大変盛り込まれているので、そこも中学に行くどうしても受験という観点から、生徒さんたちも文法とかというほうに重きを置きがちなのですが、そういったバランスの配慮というのですか、国際活動に興味を持って、だから英語を学んでしゃべれるようになると世界が広がるよというところのアピールがなされているなという点もちょっとアピールポイントになるのかなと。あとは、小学校が「NEW HORIZON」ですので、振り返りをもって安心して勉強ができるという点も、今年度というか、この引き続きの学習から取り組めるということで安心していけるという点で、非常にありがたいかなというふうに。すみません。ちょっとよくまとまっていませんけれども。

本当にそういった多様性とか文化の紹介から英語にアプローチしていく。そういった特色があったのは非常に面白かったなと。本当に英語をしゃべるのは、必ずしも西洋というか、白人というか、私たちのイメージするアメリカとかヨーロッパ人だけではなくて、いろんな国の人たちがしゃべるといって、そういった点をアピールできていたのもとてもいいのではないかなというふうに思いましたので、またそういった点をアピールしていただけたらと思います。ありがとうございました。

○会長 ほかにございますか。

どうぞ。

○委員 ありがとうございました。前回開隆堂に変わって、今度東書に戻るということで、前回の要するに教科書を選定した理由をプリントアウトしてみたのです。2つを並べて読んでみると、私頭が悪いのですが、あまり変わらないなという気がするのです。だから、やっぱり今おっしゃった中に、どうしても東書にしたかったという、例えば人の姿だとか、その部分をもっと端的に示してしまったほうがいいなというふうに思うのです。というのは、例えばユニットゼロについては、今回ユニットゼロと書いてありますので、前回のところでは小学校との接続に配慮したという一文が書いてあるのです。なので、今回またこれを東書に戻すというか、東書にしたのはこの理由だということもきちんと分かったほうがいいかなということを思いました。どちらかどうということは私分らないのですけれども。

以上です。

○会長 今の点ありますか、委員長。

○英語教科責任者 そのとおりです。自分は扉ページが最も魅力的なポイントであると思いました。

まず単元を貫く問いがあって、そして文化や背景を表すテーマが載っていて、そしてその写真や画像からも感じる、想像するところがある。そして、さらにプリアクティビティとあって、本文に関わる対話を聞いて、そこは英語が分からなくても、何となくこんなことを言っているのだろうか、こんなことをやるのだろうかということが想像できる対話を聞くことができます。扉ページに一番伝えたいことが示されているインパクトがある。そして、先ほど会長先生がおっしゃいましたが、生徒が見通しを持って学べる、そういったゴールが示されているのが一番のポイントかなと思っておりました。ありがとうございます。

○会長 ありがとうございます。ほかにございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○会長 ほかにないようですので、選定に入ります。

英語についてであります、東京書籍の教科書を選定することとしてよろしいでしょうか。賛成の場合は挙手をお願いいたします。

〔挙手多数〕

○会長 ありがとうございます。

では、賛成多数と認められますので、英語については東京書籍の教科書を選定することといたします。ありがとうございます。

それでは、道徳について調査研究委員長、自席で結構ですので、調査研究結果の報告をお願いいたします。座ったままで結構です。

○道徳教科責任者 失礼します。よろしくをお願いいたします。着座にて失礼いたします。

では、お願いいたします。中学校の道徳では、道徳の教科書の選定に当たりまして私を含め5名の委員で検討をいたしました。結果につきましては、資料ローマ数字Ⅰの調査表に一番多く二重丸がつきました光村図書出版「きみが いちばん ひかるとき」を委員会として選定いたしました。

選定した理由についてお願いいたします。特別の教科道徳の目標の中に、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸活動についての理解を基に、自己を見詰め、物事を広い視野から多面的、多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てると示されております。目標にあります、まず自己を見詰めるということ、もう一つが物事を広い視野から多面的、多角的に考えるという点に着目して考えたときに、最後の発行者の教科書を選定した理由のところでは書かせていただきました1つ目のポツにありますように、各題材の最後にある、小さくて見えづらいのですが、このようなお話が読み物教材があったときに、必ず最後のところに人と関わるときに大切な礼儀のところとはどんなものがあるだろうというようなところとか、見方を変えてつなげようという、ここの部分を変えてつなげようという会社では示しておりますが、つなげようで示された見方を変えてという切り口を変えた問いから、物事を広い視野から

多面的、多角的に捉えることができたり、つなげようと書かれているところからは、他教科や自分の日常生活と関わらせて自己を見詰めたりすることができるように工夫されています。この部分で道徳の目標に書かれている部分に一致してきています。このことは、教科の目標の配慮とともに、生徒の学習活動への配慮と学習指導への配慮にもつながっているかと思えます。

続けて、2つ目のポツに書かせていただいたことです。こちらについては、生徒の学習活動への配慮につながるものと考えております。例えば各学年のスタート段階ですと、1年生であれば中学生としてどんな自分でありたい、3年生であれば最上級として行動していくためにはとユニットのテーマが示されており、1年間を通して生徒の成長に寄り添うようなユニットで構成されています。生徒にとって学習の見通しが持ちやすいものとなっています。

ユニットというものですが、こちらはこの会社のところで書かれておりますけれども、一般的に開いていただくと目次があるのですけれども、その下に段階として中学1年生だと中学生としてどんな自分でありたい、いじめを許さない心について考える。よりよい学校生活を送るためには、自分の行動に責任を持つとは、情報モラルについては、社会の一員として生きるためにはというような、こういったところで話を幾つかに固めてユニットにして示してあります。そうすることで、今申し上げました生徒にとって学習の見通しが持ちやすいものとなっています。また、同じ内容項目を扱う教材については、各学年の発達段階や生徒の日常生活に合わせて話題や分量を変えるなど、生徒の実態に応じた工夫がされています。

続けて、3つ目のポツになります。2つ目と同様に生徒の学習活動への配慮となります。生徒の興味、関心を引き出すような漫画形式の教材や写真、表、グラフ、提示の方法が多様であり、生徒が教材に引き込まれ、自ら考え追求できるような方法が工夫されております。

4つ目です。4つ目のポツになります。生徒の学習活動への配慮とともに、学習指導への配慮となります。まなびをプラス、チャレンジ、やってみようといった項目がこの目次の中にも示されておるのですけれども、そういったものが設けられて、与えられた問いに答えるだけではなくて、生徒が自ら問いを立て、友と共同しながら解決に向かう力を伸ばすことができるような教材の工夫がされております。

最後、説明になります。生徒への学習活動への配慮となります。字体を使い分けたり、本文と先ほど見ていただきました学習の手引き、いわゆる会社で言うておりますてびきの部分です。のところの字体を区別をはっきりしたり、縦書きにしてあるものをあえて横書きにして、全く違うものですよというふうに見せたりするなど工夫されていたり、また1ページに収めてある文字の数が多過ぎずに、適切な行間が確保されているため、読んでいく際に読みやすいということが意見として上げられました。

以上のことを踏まえ、中学校道徳は光村図書出版「きみが いちばん ひかるとき」を選定いたしました。

○会長 ありがとうございます。

それでは、ただいま報告いただきました道德につきましてご協議をいただき、選定をしまいたいと思います。

何かご質問、ご意見ございますか。

○委員 よろしくお願ひします。

道德という授業は、先生方にとっても一番指導が大変かなと。いろんな考え方ですとか、またいじめなんていうことに関しましては一番身近な問題でもあるので、教科書選びは大変難しいと思ひました。そんな中で、今先生がおっしゃっていただいた選定理由、ほとんどここに示されているとおりにかなと。私もぱらぱらとですけれども、見させていただいて、一言でバランスがいいと。ほかの教科ですと、やはり古い日本的な考え方を例示してあったりすとか、例題はいいのだけれども、字が多くて理科の教科書みたいだったりだとか、あとは字が固いとか、行替え等の工夫が足りなくて、せつかくいい感じなのだけれども、大切な部分との見分けがつかないとか。そういった中で光村さんは非常に開いたときに引き込まれる感じとか、あとは分かりやすさですか、てびきで示して、見方を変えて、先ほど先生がおっしゃっていただいたところ、やはり揺るがない規範というか、道徳的な部分で大事にしたい見方というのが例題で生徒たちに示すのだけれども、こういう見方もあるよ、ほかの考え方もどう、みんなどんな考え方を持っているというような問いかけをされているというところが非常にアピールポイントとしてよかったのではないかなと。今申しましたけれども、こうあるべき的な考え方という、ちょっと今の考え、価値からしたら古いような考え方を例示したままという教科書会社さんもあったので、そういった揺るがない規範はあるのだけれども、こういったアプローチもできるというような1番目に書かれているここをもっとアピールしていただいたら、光村さんが光るのではないかなと感じました。

大変教えづらい教科だと思ひますが、引き続きご指導よろしくお願ひいたします。

○会長 ありがとうございます。

ほかにごございますか。

○委員 先生の提案してくれた、そのとおりで思ひますけれども、1点だけつけ足しをお願ひしたいと思ひます。選定した理由の2つ目のところ、生徒にとって学習の見通しが持ちやすい教科書だというのは私も同感でして、特に道德においてはただ見通しを持つだけではなくて、それを振り返って初めてその子の力がついたら実感でき、また新たな問いが生まれてくるということが大事な評価の部分なのかなと思ひます。特に最後のページを見させてもらったら、まなびの記録みたいなものがあるのです。まなびの記録で毎時間、毎時間とか、1年間を通してどういう自分になったかということが分かる、すごくこの教科書で工夫されている点かなと思ひますので、その見通しが持ちやすいのと合わせて、まなびの記録等で振り返ることができて、次につなげることができるみたいな内容を明記していただけると、補強ができるかなと思ひますので、ご意見させていただきます。

○会長 ありがとうございます。

○委員 全くその選定に関わることではないのですが、最後の教科書を選定した理由のところ、やっぱりこれだけのたくさんの会社からこの光村のものを選ぶということで、特に道德のところは難しいかと思うのですが、もっと断定していてもいいかな。文章を断定していったらいいのかなということをおもいました。例えばできるように工夫されているとか、寄り添うようなとかではなくて、寄り添っているものだったよというところをきちんと書いたほうがいいのではないかな。先ほども言ったのですけれども、ほかの会社も今度作る時に工夫してくれると思うのですけれども。そこはあまりぼやかさないで、きちんと書いたほうがいいかなと思いました。

以上です。

○委員 ありがとうございます。光村さんの道德と他者の道德の大きな違いは、いわゆる他者の道德さんは割とこういう行為をしましょうとか、こういう行為であるべきですというような、そこがうんと強いのですが、私はこれは個人的な感想なのだけれども、道德というのは行為の仕方を学ぶことも大事ですが、それ以上にそこに向かって働かせる心の働かせ方というのがとても大切で、光村さんはそれをうんと大事にしているなと思うのです。それは、適当と認めた理由のところを書いてあるのですけれども、例えば2番の(4)番のところ、小学生のときには気づかなかった面を見直してみられるという、これ学生のときには立場だとか状況だけでは判断できなかった心の働かせ方が、年を取ることによってこんな見方もできるのだということに気づけるように配置されていたり、あるいは3番の(4)のところにも書いてあるのですけれども、登場人物の心情を察しやすくなる。行為が分かりやすくなるというのではなくて、心情を察しやすくなるように構成されている。こんなようなあたりから、行為の仕方だけを学ぶのではなくて、立場や状況を把握させて、心の働かせ方に目を向けさせるような手引きに工夫されている点が、私は光村さんがとてもいいところなのではないかなと思っています。

以上です。

○会長 ほかにありますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○会長 では、ほかに特にないようですので、選定に入ります。

道德についてですが、光村図書出版の教科書を選定することとしてよろしいでしょうか。賛成の場合は挙手をお願いいたします。

〔挙手多数〕

○会長 ありがとうございます。

では、賛成多数と認められますので、道德については光村図書出版の教科書を選定することといたします。ありがとうございます。

皆様のご協力により中学校用教科書について議事が終了いたしました。本当にありがとうございます。

した。